

備前市事務事業評価シート

事業の概要		平成19年度				
事業開始年度		平成19年度				
総合計画	大項目	基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり	根拠法令・例規等	高齢者の医療の確保に関する法律	
	中項目	基本施策	やさしさあふれるまちづくり			
	小項目	施策	08 老人保健（医療費給付）			
事務事業名		03	後期高齢者医療事業	問	担当課（室）	保健課
		合	職・氏名	保険医療係長	河井 健治	
		先	電 話	64-1819		

事業の実施			
対 象 (誰・何に対して)	後期高齢者（長寿）医療制度被保険者		
目 的 (何のために)	後期高齢者（長寿）医療制度の適切な運営に資する。		
行 政 活 動 (どのような方法で)	後期高齢者（長寿）医療制度の運営を適切に行うことで制度の安定を図る。		
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	後期高齢者（長寿）医療制度が安定した適正な制度となるようにする。		

事業の実績							
活 動	実 施 項 目	単 位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績		
	対象者数	人		6,036	6,070		
	事業費	千円	0	31,825	442,117		
	必要人員	人	0	0.46人	1.39人		
	人件費	千円	0	3,500	9,849		
	費 計	千円	0	31,825	442,117		
績	国 庫 支 出 金	千円		8,240	730		
	受 益 者 負 担 金	千円					
	線 入 金	千円					
	市 債 借 入 金	千円					
	そ の 他 (保 険 料 ほ か)	千円				331,737	
一 般 財 源	千円	0	23,585	109,650			
受 益 者 負 担 比 率	%	-	-	-	-		

結果指標名		単 位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
結果指標①	対象者数	説明	一人当たり費用額	6,036	6,070
	対 前 年 比	%	-	-	100.6%
	活 動 コ ス ト	円		31,825,000	442,117,000
	単 位 当 た り コ ス ト	円	#DIV/0!	5,273	72,836
結果指標②	対 前 年 比	%			
	活 動 コ ス ト	円			
	単 位 当 た り コ ス ト	円			
	対 前 年 比	%			

事業の成果					
後期高齢者（長寿）医療保険料収納率	成 果 指 標 名	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	到達目標値				100
	目標値 (A)				100
	実績値 (B)				99.01
達成率 (B/A)	%	#DIV/0!	#DIV/0!	99.0%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
保険料収納額／保険料賦課額 収納率を目標値として設定している。					

事業の目的、対象、内容を考えているが、目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価				(平成20年度事業)		
妥当性の評価	市の関与の 妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価<A~E>		B	
		<input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	判定理由・課題認識			
市民ニーズ	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない	後期高齢者（長寿）医療制度を運営するための保険料を徴収し広域連合へ納付すること、各種手続きの窓口業務を適切に実施しており制度運営上妥当である。			
		<input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている				
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	効率性評価<A~E>			
		<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である				
目的達成度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている	判定理由・課題認識			
		<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている				
		<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	窓口での申請事務等が主な物となっていることからコスト削減に大きく影響は現れない、しかし、事務効率を見直し人件費コストの削減に取り組む必要がある。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある				
		<input type="checkbox"/> 類似した事業がある	有効性評価<A~E>			
		<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い				
		<input type="checkbox"/> 説明	判定理由・課題認識			
		<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している				
		<input type="checkbox"/> 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある	窓口での申請事務等が主な物となっていることからコスト削減に大きく影響は現れない、しかし、事務効率を見直し人件費コストの削減に取り組む必要がある。			
		<input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある				
		<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい	有効性評価<A~E>			
		<input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である				
		<input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある	判定理由・課題認識			
		<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない				
		<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	制度運営上市町村が窓口事務、保険料徴収事務を行なうこととなっていることから必要な事業である。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている				
		<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である	有効性評価<A~E>			
		<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである				
		<input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している	判定理由・課題認識			
		<input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている				
		<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	制度運営上市町村が窓口事務、保険料徴収事務を行なうこととなっていることから必要な事業である。			
		<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している				
		<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある	判定理由・課題認識			
		<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している				
		<input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	判定理由・課題認識			
		<input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている				

平成21年度の状況							
目標値	結果指標量①	72,836	結果指標量②	成果指標量	100.0		
状 況	拡 充	現 状 継 続	見 直 し	縮 小	整 理 統 合	休 止	廃 止 ・ 完 了
		○					
説 明	適正に継続して事業を行う。						

総合評価					
申請手続き等で窓口に来庁される方に、親切丁寧な対応に心がけ制度の浸透を図ることが重要となっている。また、保険料を滞納されている方には納付意識の高揚を図るための徴収努力が重要となっている。	評価区分 <A~E>	B			

平成22年度以降の方向性・内容					
方向性	拡 充	現 状 継 続	見 直 し	縮 小	整 理 統 合
		○			
説 明	適正に継続して事業を行う。				
改善がある場合	評価の視点	改 善 内 容	改 善 時 期	改 善 により期待される効果	